

介護付き有料老人ホーム
ブランニュー 杉並高井戸

自分流の生活を楽しむ アットホームな雰囲気の中で、

取材／文／熊谷まこ 撮影／広井一成

閑静な住宅街に
溶け込む外観



2駅が利用でき、どちらも徒歩十数分。低層で落ち着きのある建物は、自宅にいるような安心感を与えてくれる

共有スペースは
開放的空間



2階入居者のためのリビング・ダイニング。大きな窓から陽光を探りこんだ明るい造り。赤ちゃんロボットも導入している



第2のリビングとして活用できる庭。体が不自由な入居者も、気軽に開放的な雰囲気を楽しめる

ハーブや野菜作りが楽しめる花壇。憩いのベンチは、災害時にかまどに転用できる優れもの。簡易自家発電機も用意している



小規模であることを生かし
一人ひとりの生活に向き合う

閑静な住宅街に立つブランニュー杉並高井戸は、居室数33のこぢんまりとした介護付き有料老人ホームだ。今年5月にオープンしたばかりの真新しい建物は、温かみのある木調の内装で2階建て。住宅のような造りで、周辺の環境にしっかりとなじむ。ホーム長の安藤真樹さんはこう話す。

「ホームでも、ご自宅と同じようにゆっくりくつろいでほしい。そんな思いで日々の暮らしのお手伝いをしています」

アットホームな雰囲気もさることながら、安藤さんからスタッフが大事にしているのは、入居者一人ひとりの生活リズムだ。ほとんどのホームは、一斉に食事を始め、人手の多い日中に入浴を済ませるなど、スタッフの都合に合わせて入居者の一日を管理している。入居によって、長年自宅で習慣にしていた生活リズムの変更を余儀なくされてしまうのだ。

では、「昼食はやや遅めの時間で」「お風呂は夕食後に」「夜遅くまで起きていたい」といった入居者の希望を聞いて、できる限り対応するようにしているという。

これらは手厚い介護態勢や医療協力態勢が基盤となっている。法定基準の2倍の人員を配置し、要介護度が重い入居者の受け入れや看取りの態勢も整え、医療行為が必要な人の入居相談も受け付けている。

とくに認知症は、認知症診療に詳しい浴風会病院と協力医療機関の協定を結び、専門知識のあるスタッフをそろえている。「年をとっても病気になることも目分らしい生活がしたい」。そんな入居者の思いを実現できるように、サポートします(安藤さん)



◎東京都杉並区上高井戸2-11-45
☎0120-700-526
入居一時金◎0~1774.5万円
月額費用◎19.3万~36.2万円
敷金◎なし

◀施設データは199ページへ

ここは自宅、スタッフは家族だと思って気兼ねなく過ごしてください



ホーム長
安藤真樹さん

移動が少なくなくて済むように、各階に浴室を設置。転倒防止のため、脱衣室には体をしっかり支えるU字形の手すりや、滑りにくく衝撃を吸収する特注の床材を採用している



夜間の見守りをサポート

横幅を広くした居室。ベッドを窓と平行に設置できるため、寝た状態でも外の風景を望める。ベッドの両側からケアすることも可能だ



ベッドには、睡眠や覚醒、離床の状況をモニターできる「眠りSCAN」を設置。夜間、覚醒に合わせてスタッフがトイレ誘導に向かう